

歴史 活動例E「明治政府の成立と維新」

(1) 学習単元と具体的な学習内容

学習単元：内容（5）イ

○明治政府の成立と維新

具体的な学習内容

○新政府の政策

260年あまり続いた江戸時代が終わり、複雑な国際情勢の中で独立を保つために急速に近代化を図っていったこの時期は、我が国の歴史の大きい節目の1つである。現代日本の基礎を築いていった明治維新の政策や当時の人々の様子を学習することは、外国人生徒にとって必要不可欠な学習である。

(2) 目標

①社会科としての目標

・およそ10年の短い間に、政治、外交、経済、文化において、急速に近代化を図っていったあらましを理解させ、それらが当時の人々に与えた影響や人々の生活の変化について考えさせる。

②身に付けさせたいスキル

・写真資料や図書資料を活用し、新政府の政策のあらまし、政策による変化や影響等を読み取るスキル。

③身に付けさせたい日本語のスキル

・この時代の主な政策の名称やおおまかな内容について簡単な文で表現するスキル。

(3) 対象とする生徒のイメージ

経験知識	日本の近代史について学習した経験はなく、出身国の近代史についても断片的な知識しか持っていない。
日本語の力	日常会話には支障はないが、授業中は理解が困難である。筋道立てて状況を説明したりするには日本語の力が不十分であるため、理解したことや自分の考えや意見を伝えることがまだできない。小学校3年生程度の漢字は読み書きすることができる。

(4) 学習の流れと参加支援の例（全体の時間数 6時間程度）

	在籍学級における学習活動例	学習への参加を促すための支援の例
つかむ	①1868年から1890年までの主な出来事を年表で調べる。 学習問題 「明治維新の政策を政府・士族・平民の立場から考えよう。」	○主な出来事について、あらかじめルビをふったカードを用意し、年代順にワークシートに貼り付けていくようにする。 ○江戸時代の武士の生活や農民の生活について触れ、武士が農民を支配していた大まかな様子を説明する。

	② 版籍奉還、廃藩置県、四民平等、学制の公布、徴兵令、地租改正、殖産興業、文明開化の各政策の内容を小グループ内で分担して調べる。	○特に、四民平等、学制の公布、文明開化に焦点をあて、武士の特権が廃止されるなど具体的な事例や具体的な制度、具体的な欧米文化の影響について、図版資料や写真資料をもとにとらえさせる。 ○小グループ内の分担時に、上記の内容が分担されるよう配慮する。
まとめる	③ 各グループ内で、調べた内容をお互いに発表し、大まかな政策の内容を理解する。	
広げる	④ 各グループを政府の立場、士族の立場、平民の立場に分け、グループごとの立場で各政策について考える。 例 Aグループ：政府の立場から政策を考える	○武士は特権を奪われていく具体例をもとに、平民は、平等になったが様々な重い負担を背負わされた具体例から考えられるよう、その例をあらかじめカードに記して提示する。
発信する	⑤ 各立場から、政策について発表し、それぞれの立場から質問や意見を出し合う。	○発表に参加できるように、発表の例をもとにワークシートに記入させる。

※網掛け：(5)指導案で示す授業

(5) 指導案

① 本時の目標 図版資料や写真資料から、明治維新のようすを理解し、人々の生活の変化について考えさせる。

② 本時の展開 ※ 「文明開化」を分担して調べる場合の事例

	学習活動	・指導上の留意点★教材	○日本語支援 (タイプ)
導入	① すきやき、すし、あんパン、焼き鳥の中で明治時代になって食べられたものを予想する。	・具体物や写真を用意し、学習意欲を高めるように配慮する ★写真資料(広告等を活用)	○具体物や写真から視覚的に分かるようにし、情報を読みとらせる。【理解・表現】
展開	② 年表から、文化の欧米化のようすを理解する。 ③ 写真や図版資料から文化の欧米化のようすを考える。	・年表の情報から、特に興味を持った内容を、その理由とともに発表させ、主体的に学習していくようにする。 ★年表、せっけん等具体物 ・ざんぎり頭、銀座通りのようす、男女の洋装から文化の西欧化に気付かせる。その際、江戸時代の	○年表にはあらかじめルビをふり、必要な情報のみを掲載する。【理解】 ○年表にある情報の具体物を用意できる範囲で準備し、示す。【理解・記憶】 ○写真や図版資料から気付いたことを自由に日本語で表現させる。【表現】 →問いかけ・応答の例参照

	④殖産興業のようすを理解する。	ちょんまげや服装と対比させるなどして変化が分かるようにする。 ★写真、図版資料 ・蒸気機関車や富岡製糸場から殖産興業について理解させる。 ・写真資料又はビデオ教材を用意する。 ★写真、図版資料、ビデオ教材	○殖産興業とは「さまざまな産業をさかんにする事」であることをあらかじめ示す。 ○製糸業とは「絹糸」をつくる産業であることを、ネクタイ等絹糸でできた製品を用意して示す。 【記憶・理解】
まとめ	⑤学習の成果をまとめ小グループ内で発表する資料をつくる。	・まとめ用ワークシートを用意する。	○ワークシートに日本語の表現例を示し、やさしい日本語で表現できるようにする。 ○学習の成果をまとめる過程で支援するとともに、ほめる姿勢で臨む。 【表現・情意】

<キーワード> 文明開化、殖産興業、ざんぎり頭、蒸気機関車、富岡製糸場

(6) 教材・教具、問いかけ・応答の例

① 問いかけ・応答の例

<p>○ざんぎり頭と洋装（江戸時代のちょんまげと和服姿と比較して）</p> <p>T：この髪のは何というのですか。</p> <p>S：分かりません。</p> <p>T：「チョンマゲ」というんだ。いっしょに言ってみよう。</p> <p>S：チョンマゲ</p> <p>T：この写真が、江戸時代（明治時代になる前の）の服装です。</p> <p>T：この髪は、みんなと同じだね。「ざんぎり頭」と言ったのです。</p> <p>S：ざんぎり頭？</p> <p>T：服装も今のと似ているね。これは、もともとどこの国の服装ですか。</p> <p>S：イギリスかな。</p> <p>T：そうだね。ヨーロッパの国の髪型や服装になったね。</p> <p>○東京銀座のれんが街（江戸時代の宿場町の写真と比較して）</p> <p>S：人を乗せてひっぱっている人がいる。</p> <p>T：そうだね。人力車というんだ。</p> <p>S：傘をさしている人がいる。</p> <p>S：馬が乗り物をひっぱっている。</p> <p>S：電灯がある。</p> <p>S：建物が、江戸時代と変わっている。</p> <p>T：そう、みんなヨーロッパの国から伝わったんだ。</p>

② 教材・教具

- 1) 各社の教科書や資料集に掲載された「富岡製糸場」「東京銀座のれんが街」の図版
- 2) 蒸気機関車の写真や図版
- 3) せっけん、あんぱん、チョコレート、歯磨き粉、ビール等の現物資料
- 4) 年表

年 代	で き ご と
1869 (明治2)	東京の風月堂がパンを売る。
1870 (明治3)	自転車 <small>じてんしゃ</small> をアメリカより輸入 <small>ゆにゅう</small> する。
1872 (明治5)	新橋・横浜間 <small>しんばし よこはまかん</small> に鉄道 <small>てつどう</small> が開通 <small>かいつう</small> する。 富岡製糸場が開業する。
1873 (明治6)	野球 <small>やきゅう</small> がはじまる。
1875 (明治8)	東京の木村屋 <small>きむらや</small> であんぱん <small>う</small> を売り出す。
1877 (明治10)	鉛筆 <small>えんぴつ</small> がつくられる。
1878 (明治11)	風月堂がチョコレート <small>チョコレート</small> を売る。
1879 (明治12)	日本人がはじめて汽車 <small>きしや</small> を運転する。
1880 (明治13)	アイスクリーム <small>アイスクリーム</small> が発売される。
1883 (明治16)	バリカン <small>バリカン</small> が使用 <small>しよう</small> されはじめる。
1884 (明治17)	海水浴場 <small>かいすいよくじょう</small> が横浜海岸通 <small>よこはまかいがんどおり</small> で開かれる。 日本橋 <small>にほんばし</small> の丸善 <small>まるぜん</small> で万年筆 <small>まんねんひつ</small> が発売される。
1888 (明治21)	資生堂 <small>しせいどう</small> が国産 <small>こくさん</small> ねり歯磨 <small>はみがき</small> 第1号 <small>第1号</small> が発売

5) ワークシート (発表のため)

文明開化

明治時代めいじじだいには、ヨーロッパの国々くにぐにから、いろいろな文化ぶんかが伝つたわりました。

例えば、

- ・明治時代になって、() を食べるようになりました。
- ・明治時代になって、() が使つかわれるようになりました。
- ・明治時代になって、髪型かみがたは ()。

このように、欧米おうべいの文化が取り入れられていくことを () といいます。